

AI・長寿化時代の地域人材戦略

良質な労働市場をどう創るか

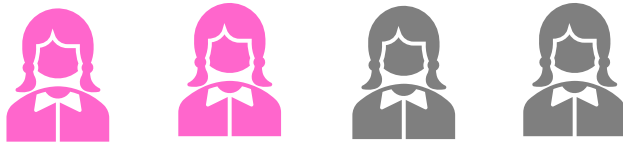
宮本 弘暁

一橋大学経済研究所

※本スライドの内容はすべて個人の見解であり、所属先の公式的な見解を示すものではありません。

クイズ

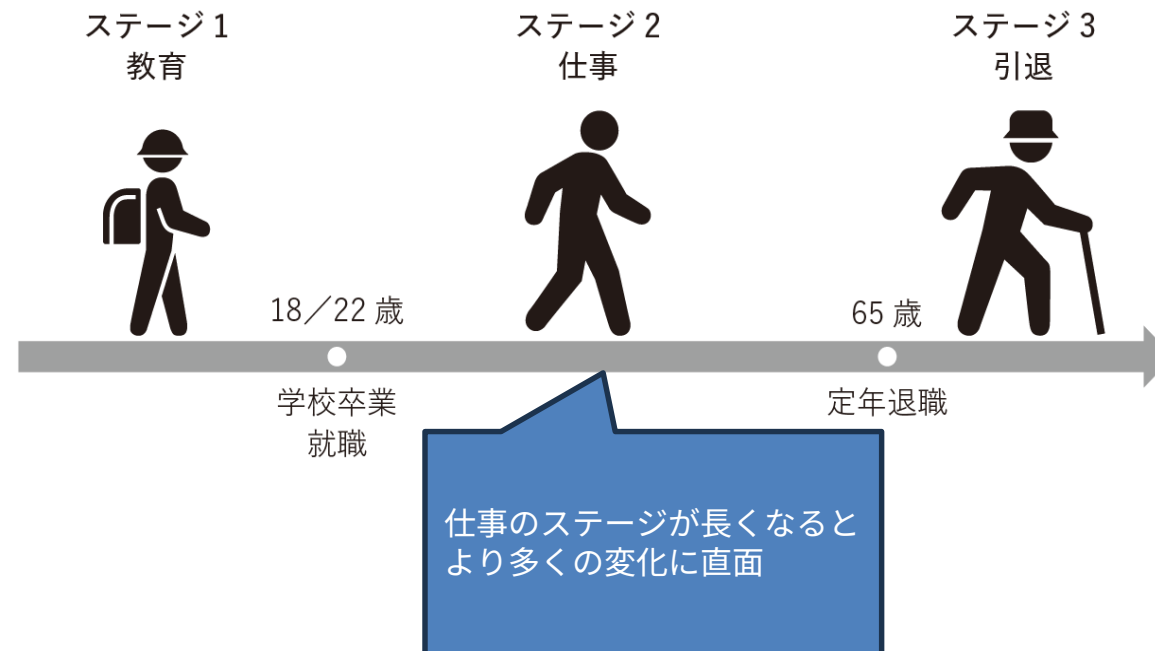
女の子は2人に1人、男の子は4人に1人



長寿化によりライフコースは大きく変化

- 長寿化社会では働く期間が長くなる
 - ー 経済・社会の構造変化に対応できる必要

3ステージの人生

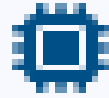


メガトレンドの変化



人口構造の変化

人口減少と少子高齢化の加速



テクノロジーの進歩

AI・デジタル技術による社会変革

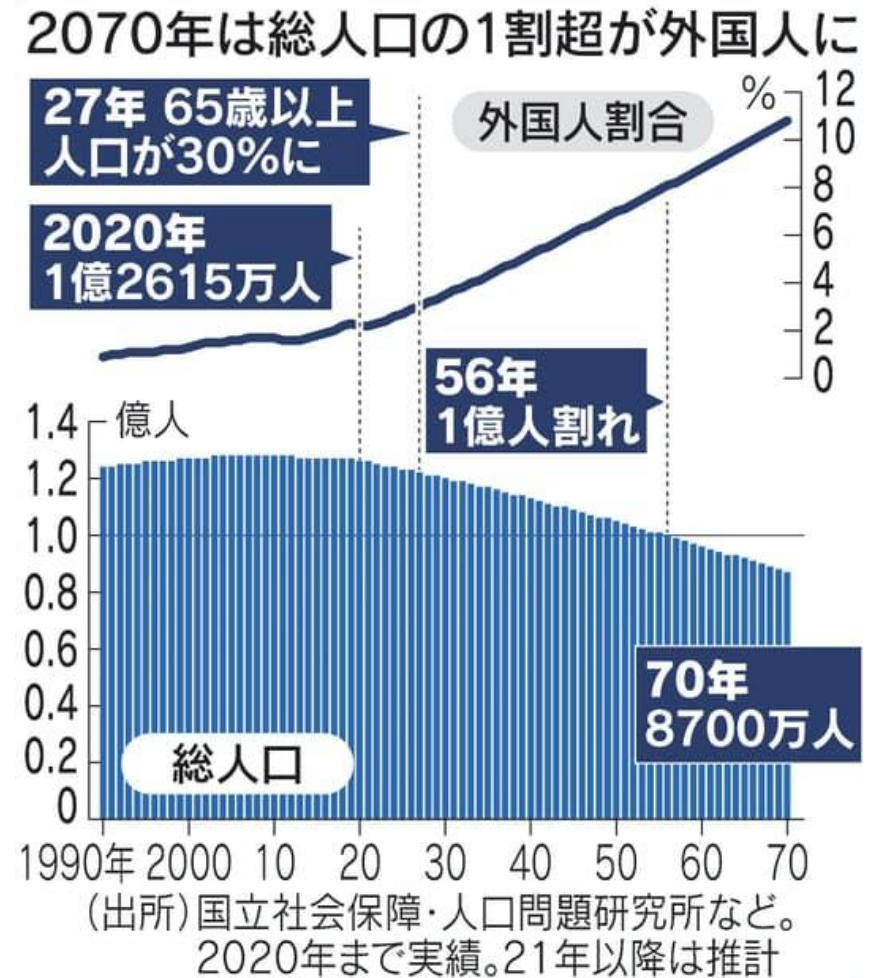


グリーン化

気候変動対応と脱炭素社会へ

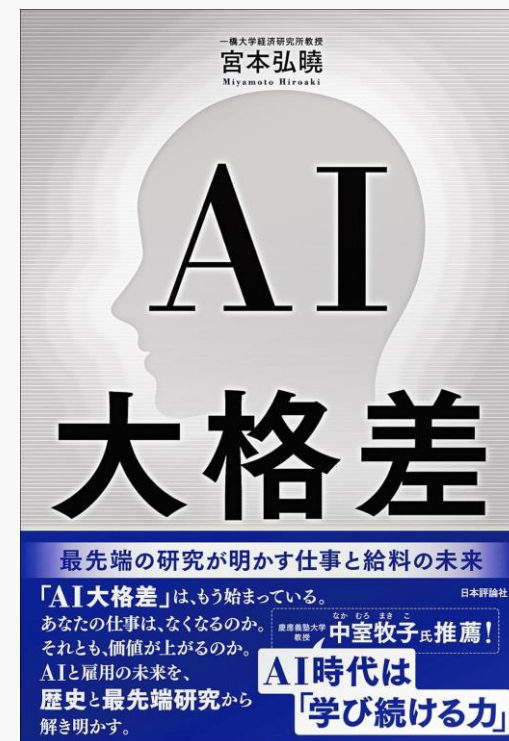
日本が直面する最大課題は、人口構造の変化

- 今後、日本の人口は激減する。
- 2025年：1億2400万人弱
- 2056年：1億人を割る (約2400万人減)
- 2070年：8700万人 (約3700万人減)
- 高齢者の割合は29%から38.7%に

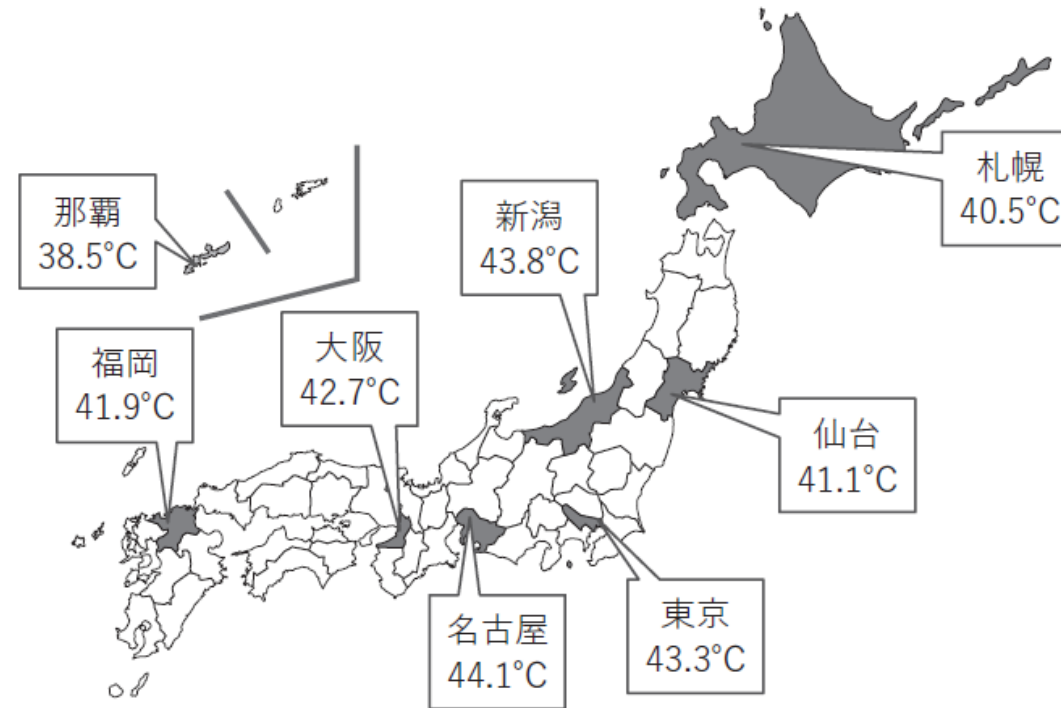


AIが世界を変える

- ✓ AIが生活様式、働き方、さらには経済社会の全体像を大きく変える可能性
- ✓ チャットGPTの衝撃
 - ▶ 公開後わずか5日で100万人、現在の利用者は9億人以上
- ✓ AIの能力には目を見張るものがある
 - ▶ 東大理三合格（首席）
 - ▶ 人間並みの知性をもつ「汎用人工知能（AGI）」の可能性
- ✓ ホワイトカラーの危機！？



2100年未来の天気予報



出所：環境省。

- 日本の最高気温記録 41.8度（25年群馬県伊勢崎市）
- モンスター級台風（風速90m/s）が日本に接近

求められる「良質」な労働市場と人材マネジメント

- 「昭和モデル」からの脱却

昭和モデル（日本的雇用慣行）	これからの地域モデル
新卒一括・終身雇用	何度でも学び、移り、戻れる
年功・我慢・長時間	スキル、成果、健康、柔軟性
会社の中だけで育成	地域全体で人材を育てる
正社員か非正規か	副業、兼業、短時間、季節就労、リモートを組み合わせる
人手不足を根性で埋める	AI・省力化・業務再設計で補う

賃金、成長、移動、安心、誇りがある労働市場

- 稼げる
 - － 精神論ではなく、賃金、処遇、キャリアの見通しを出す
- 育つ
 - － 「この会社に入ったら何ができるようになるのか？」
 - － 学べる仕事を明示：AI活用、観光マーケティング、食品輸出、データ分析、現場改善など
- 動ける
 - － 地域内で次の仕事が見つかる。副業で別の世界を試せる。
- 誇れる
 - － 地域ブランドを支える仕事

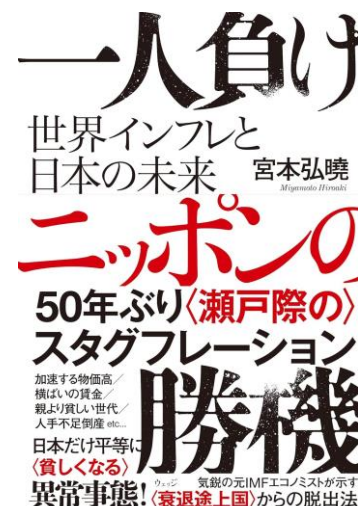
地方には大きなポテンシャルがある

- 第一次産業
- ガストロノミー・ラグジュアリービジネス
- ホスピタリティ
- テレワーク・副業・関係人口

何が真に求められているのか？

- 日本経済が抱える根本的な問題は「新陳代謝」が滞っていること
- 必要なのは、メガトレンドの変化を考慮した長期のグランドデザイン
- 未来をひらく明るい構造改革
 - － 行政・経営者マインドのチェンジ

著著のご紹介



最新刊 5月22日発売